

ふれる感じる考えるこども図書館

～プロジェクトレポート～



学校法人福島学院

福島学院大学認定こども園



令和6年度事業内容

1 絵本に親しむ機会の拡充



2 豊かな感性や心表現力の基礎育成



3 ろう者と聴者による人形劇団
招聘イベント実施



4 障がいや様々な文化などの
価値観を含む絵本蔵書増加



令和6年度の実績

利用のべ人数

2,490人

前年度比 +499人増

貸出冊数

4,980冊

前年度比 +998冊増

絵本蔵書数

約1,230冊

前年度比 +280冊増



豊かな感性や知的好奇心の育成

実体験を伴う活動



作品展の製作活動



発表会での劇遊び



絵本にふれる



一冊の「絵本」から

体験することで「感性」が磨かれる

製作活動で「表現」をする

発展して「表現力の育成」へつながる

ろう者と聴者による人形劇団招聘

～ デフパペットシアター・ひとみ人形劇団による人形劇と交流会 ～

絵本の世界から飛び出した人形劇観劇



お題目は昔話「一寸法師」
子どもたちはその表現豊かな人形の動きと、次々に切り替わる背景や場面効果の小道具に釘付けでした。
視覚的な効果だけでなくめずらしい楽器を交えた劇で五感に訴えかける内容でした。

手話を交えた交流会



劇団の座長さんが手話で「見てくれるみんなが驚いたり、喜んだりしてくれることが何よりもうれしいです。ろう者と皆さんは仲良くなれるんです。動きや顔の様子で伝わるんです。」そう言ってたくさんの笑顔子どもたちに届けてくれました。

こども図書館利用者の声

表紙が見えるように並んでいるため、絵本を取り出す・しまう時の作業が無く、文字が読めない子でも絵で選ぶところがとても良いと思います。

絵本の配置がこども図書館に行く度に少し変わっていて、新鮮な気持ちになるし、新しい絵本にも出会えてとても良いです。

降園時間に合わせて会館しているので、お迎え後、帰宅前に寄りやすいです。子どものお気に入りもできて大満足です。

清潔感や開放感があり本を選ぶにも温かい気持ちになる場所で居心地がよいと感じました。中には大人も興味を湧くような本もあって、何度も通って本を借りたくなります。



夜寝る前の読み聞かせをしています。本に興味を持つきっかけになっていると思います。また、園の先生に読んでもらった本を借りてお話の内容を説明してくれたりもするので、園での様子も垣間見れて楽しいです。